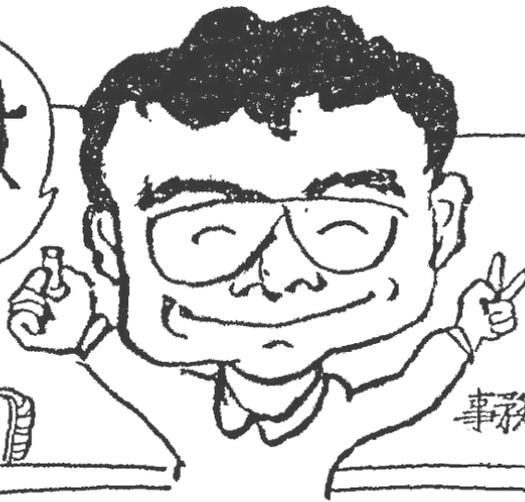


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2021年12月5日 No.1122



きらとみひこ

吉良富彦です

新屋敷事務所 823-5878  
事務所 藪野事務所 846-2046  
県議会控室 823-9524

# ビキニ被災船員調査とセットで 救済へのシンポジウム開催を

## 太平洋核被災支援センター 県の健康政策部長に要請

●さる25日、1954年のマーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカの水爆実験により被曝した本県マグロ漁船元乗組員の被曝の実態を35年間ずっと追跡調査してい「太平洋核被災支援センター

●さる25日、1954年のマーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカの水爆実験によ



一」の皆さんが、県の家保健康政策部長と懇談しました。

●県が2019年3月に開催予定しコロナ感染により中止・延期していたシンポジウム開催を求め、本県被災船員の救済、励ましになるものにと要請。家保部長は。要請にこたえるものとなるよう検討したいと答えました。

また、三浦市がビキニ事件を語り継ぎ後世に残すとして作成した「ビキニ事件三崎の記録」のように、県独自の公的資料集の編纂に着手するよう「高知県核実験被災資料集編纂委員会」を設置し、資料収集、県内元漁船員の被災実態調査に取り組み事も求めました。これについても家保部長はなかなか難しいとしながらも検討課題となりました。

## 独が方針転換し核兵器禁止条約 締約国会議へオブザーバー参加

●一方、すべての核被災者の救済を第6条で求め今年1月22日に発効し、来年3月のオーストリアで開催される「核兵器禁止条約」締約国会議に、従前の方針を添加し、参加する事を12月5日ドイツ政府が決定。世界の世論は、核実験などでの被爆者救済へと大きく動き始めています。ビキニ被災船員の救済に声を上げていきましょう。

●一方、すべての核被災者の救済を第6条で求め今年1月22日に発効し、来年3



た東京の演奏者の皆さんに、特に受けたのは、やはり「かつおタタキ」で、そして、タタキの薫焼き体験でした。これは間違いなく大うけします！また高知へきて、生の演奏で私たちを癒し、元気をください。そして、チケット販売など、コンサート成功へご協力してくださいました皆さん本当に、ありがとうございました。

た。素晴らしい演奏を聞かせてくれた。素晴らしい演奏を聞かせてくれた。素晴らしい演奏を聞かせてくれた。



## ★鈴木琴栄さんコンサート 大盛会でした

上智大学後輩、ジャズピアニスト・音楽療法士の国内第一人者のグリーンホールでのコンサートは盛会のうちに幕を閉じました。ご協力いただいた皆さんに御礼申し上げます。